

Fiery Impressが支えるブラジルの産業印刷



XeroxからAtexcoまで、ブラジルの印刷業界で豊富な経験を持つルイス・イグレスias氏が、産業印刷分野のDFEとしてFiery Impressを選ぶ理由を語ります

ケーススタディ



プリンターの枠を超えたソリューション

Gomacは、テクニカルサポートの提供にとどまらず、数千社の戦略的パートナーとして、印刷、スキャン、プロセス自動化ソフトウェアを網羅する包括的なソリューションを提供しています。市場で60年以上の実績を持つGomacは、コンサルティングを重視し、それぞれの顧客の実際のニーズを把握したうえで、効率化、コスト削減、管理強化につながるカスタムテクノロジーを提供しています。



Fieryが選ばれるデジタルフロントエンドとなった理由

Gomaqのような企業の目標は、比較的シンプルです。ブラジルの印刷会社が最大限の成功を収められるよう、機器とソリューションを提供することです。円滑で高度に自動化されたワークフローから、ブランドの価値を左右するカラー品質まで、プロダクション印刷の現場では、機器の性能を最大限に引き出せるかどうか成否を分けます。

Fieryデジタルフロントエンド (DFE) の力を数十年にわたって自ら体験してきたイグレスias氏は、印刷ビジネスで最大の成果を上げるにはFiery DFEが第一の選択肢だと確信していました。現在では、販売するほぼすべてのプレスでFiery DFEを標準オプションにしています。

同氏によれば、「現在、ブラジルで当社が販売するほぼすべてのプロダクションシステムにFiery DFEが組み込まれています。プロダクション印刷を担当する私の部門では、Fiery DFEがソリューションの標準オプションです」。

12台のプレスを備えた本格的なプロダクション環境でも、開業したばかりの印刷会社でも、Fieryは印刷ビジネスに必要な機能を提供することに注力していることから、イグレスias氏にとってFiery DFEは第一の選択肢となってきました。イグレスias氏が説明するように、バリエーション豊富な印刷から大規模なプロダクションジョブまで、幅広い用途を支えるには強力なDFEが不可欠です。また、DFEはワークフローやプリプレス環境とのシームレスな統合を実現します。

同氏によれば、「Fiery DFEは、プレスとプロダクション環境をつなぐうえで重要な役割を果たします。プリプレスツールと統合し、カラーワークフローを管理するとともに、プレスをフルスピードで稼働させるのに必要なRIP処理能力を提供します。つまり、ソリューション全体に確かな価値を加えるのです」。

プロダクション印刷とともに歩んだキャリア

プロダクション印刷に30年以上携わってきたルイス・イグレスias氏は、ブラジルの印刷業界を動かす要因を熟知しています。HPやXeroxで技術職から管理職まで歴任した後、現在はGomaqの部門マネージャーを務めています。同社は、ブラジル全土の企業やリセラーに、印刷、スキャン、企業向け自動化ソリューションを提供しています。

長年にわたり、イグレスias氏はブラジルのデジタル印刷市場の成長を最前線で体験し、Fieryテクノロジーが業界をどのように変革してきたかを目の当たりにしてきました。イグレスias氏には、もう1つ、特筆すべき経歴があります。30年以上前にFieryの技術認定を取得した初期メンバーの1人なのです。

「1992年、私が技術担当者として働いていた頃、Xerox 5775のトレーニングを受けるため米国へ派遣された最初の技術担当者でした。ちょうどその頃、Fieryがデジタルフロントエンドとして初めて登場し、私は最初期のFieryトレーニングの1つに参加することになりました」と振り返ります。

また、「これまでのキャリアを通じて、初期システムから現在のハイエンドプロダクションプラットフォームまで、Fieryが進化する全過程を見てきました。事実上、あらゆる世代のFieryテクノロジーに携わってきました」とも語っています。

「Fieryとの協業によって、今後、当社のソリューションがさらに強化されると心から信じています」





大量生産で際立つ価値：

「ブラジルでは、Fieryはプロダクション印刷業界でトップクラスのDFEとして広く認知されており、特に大量生産環境で高く評価されています。Xerox、Canon、Ricoh、Konica Minoltaをはじめ、どのメーカーのプレスでも、Fiery DFEが選ばれています」と話します。

「Fiery DFEは、プレスとプロダクション環境をつなぐうえで重要な役割を果たします。プリプレスツールと統合し、カラーワークフローを管理するとともに、プレスをフルスピードで稼働させるのに必要なRIP処理能力を提供します」

バリアブルデータ印刷のカスタマイズニーズに応える

イグレスias氏によると、バリアブルデータ印刷はブラジルの印刷会社で最も急速に成長している用途の1つであり、ワークフローソフトウェアが重要な役割を担う分野です。ファイルが印刷キューに入る前後に必要な作業を考えてみましょう。バリアブルテキスト、画像、バーコードなどのコンテンツ作成から、カラー出力、メディア選択、面付けやレイアウトなどの適切な印刷設定の適用まで、多岐にわたります。ソフトウェアで自動化しなければ、そのたびに人が判断しなければなりません。これはかつて、イグレスias氏の顧客にとって大きなボトルネックとなっていました。

「2024年、当社は高速バリアブルデータアプリケーションを運用する顧客との協業を開始しました。当初は、基本的なVDP処理に別のソリューションを利用していました。しかし、より複雑なカラーアプリケーションを高速で処理するようになると、特にカラーの一貫性と処理性能に限界が見え始めました」と振り返ります。

そこでイグレスias氏が紹介したのが、Fieryの高性能VDPソリューション、Fiery FreeForm Createです。初心者オペレーターでも、大量生産ワークフローのベテランでも、バリアブルデータ印刷を簡単に行えます。テキスト、画像、バーコードなどのバリアブル要素を数分でファイルに追加できます。FreeForm CreateはFieryサーバーとシームレスに統合され、直感的かつ効率的に作業できます。

同氏によれば、「ブラジルにおける導入事例の1社では、カラーVDPアプリケーションを最大150 m/分という極めて高速で運用しています。これは毎分約2,000ページに相当します。このレベルでは、ワークフローインフラが成否を左右します。まさにそのため、顧客にはFiery DFEを使用すべきだと提案しました」。

製品だけでなく、ワークフロー環境もカスタマイズ可能

では、変える必要があるのが出力だけでなく、ワークフロー環境そのものだったらどうでしょうか？イグレスias氏とGomaqが、中国の高速インクジェットプレスメーカーAtexcoとブラジルで提携した際、まさにこの課題に直面しました。

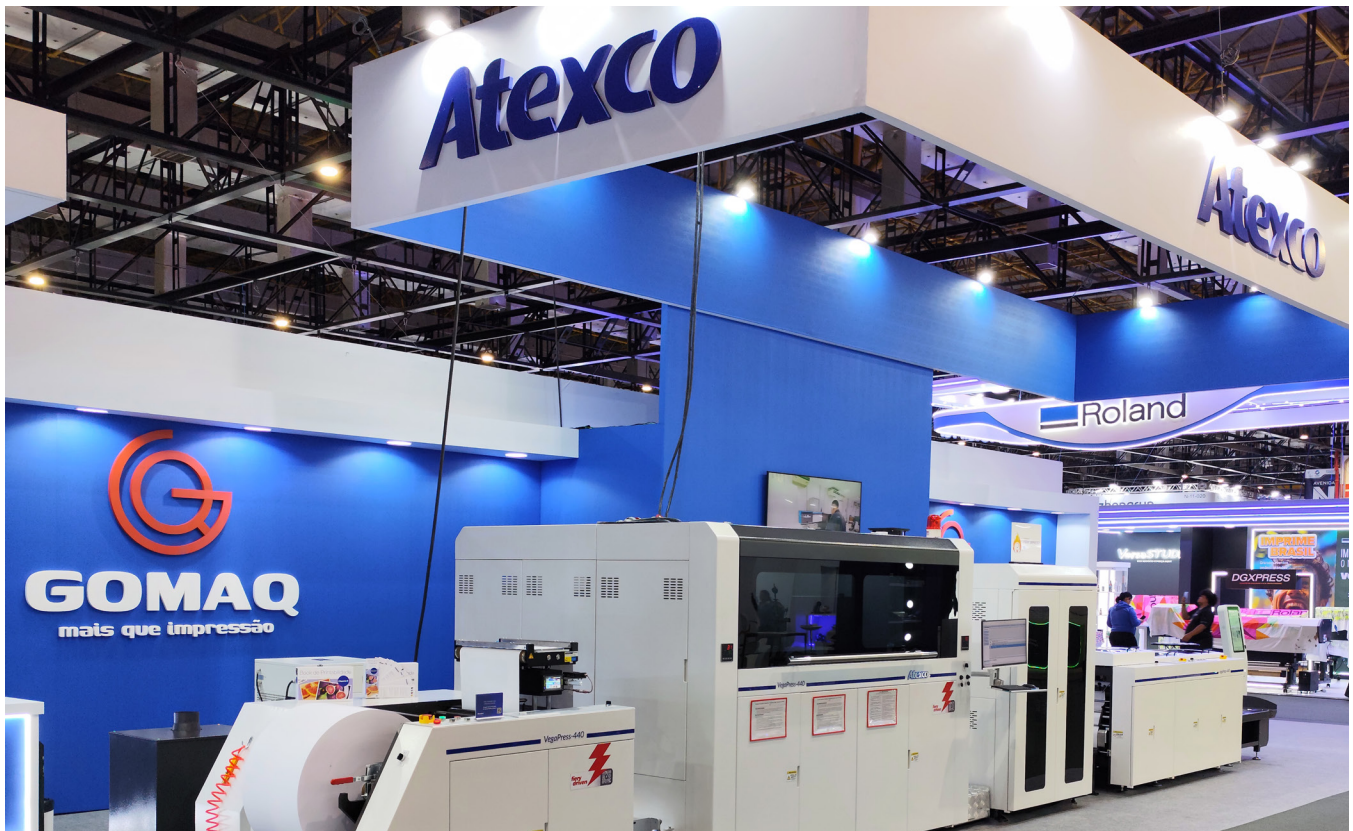
イグレスias氏によれば、「Atexcoが手がける用途の多くでは、特にプリプレスワークフローやRIP環境に、用途ごとに特化した構成が求められます」。このような厳しい要件に応えるには、自動化とカラー品質に加え、プレス環境の性能を最大限に引き出すための十分な処理能力が最優先されます。

「そこでFiery DFEが非常に重要になります」とイグレスias氏は話します。「Fiery Impressを使えば、機器を顧客のプロダクションワークフローに合わせ、その環境でシステム性能を最適化できます」。

イグレスias氏にとって、高速インクジェットプレス向けの受賞歴を誇るFiery DFEソリューション、Fiery ImpressがAtexcoのプレスに統合されていることは、大きな朗報となりました。

「AtexcoがFiery Impressの統合を開始すると知ったときは、心からうれしく思いました。Impress DFEがどれほど強力で信頼性に優れているかを知っているからです。要求の厳しいプロダクション環境に対応するために必要な処理性能、カラー品質、自動化ツールがそろっています」

「私は長年にわたってFieryテクノロジーに携わってきたので、その処理エンジンがどれほど強力で信頼性に優れているかをよく知っています。要求の厳しいプロダクション環境に対応するために必要な処理性能、カラー品質、自動化ツールがそろっています」



違いを生み出すDFE

イグレシアス氏にとって、印刷会社が最高の成果を上げるために必要なことは、実にシンプルです。最高の性能を発揮し、ビジネスの成功を支えるDFEとワークフローソリューションを提供することです。

「大量生産環境では、ワークフローとDFEが決定的に重要です。処理能力やワークフローツールが十分でなければ、ボトルネックが生まれ、プレス全体の処理が遅くなります」と説明します。「このような場面では、Fieryのようなソリューションが非常に大きな価値を発揮します。ジョブを何度も作り直したり再送信したりせずに、ワークフロー内で面付けを管理し、ブックレットレイアウトを自動化し、ファイルを直接調整できることは、Fieryならではの強みです」

処理性能からカラーマネジメント、統合まで、Fiery DFEなら顧客のビジネスを確実に支えられるとイグレシアス氏は確信しています。

「Fieryテクノロジーには、最も要求の厳しいプロダクション環境にも対応できる力があります」とイグレシアス氏は話します。「デバイス間でカラーを管理し、マッチングするFieryの強力なツールは、企業が必要とする幅広いカラー機能を提供します。さらに、デバイスやワークフローを横断するFieryの統合機能は、大きなメリットです。ファイルを共有し、プレス間で生産負荷を分散し、一貫した出力を維持できるため、オペレーション全体の効率が高まります」

「面付けをはじめとするワークフロー自動化、処理能力、カラーマネジメント、統合というすべての機能を組み合わせれば、Fieryテクノロジーがプロダクション印刷でこれほど広く採用されている理由は明らかです。Fieryは、その性能の高さ自体が最高のセールスポイントです」

「面付けをはじめとするワークフロー自動化、処理能力、カラーマネジメント、統合というすべての機能を組み合わせれば、Fieryテクノロジーがプロダクション印刷でこれほど広く採用されている理由は明らかです。Fieryは、その性能の高さ自体が最高のセールスポイントです」



Fieryについて:

Fiery, LLCは、世界の印刷業界向けにデジタルフロントエンド (DFE) とワークフローソリューションを提供する業界トップクラスのプロバイダーです。全世界で200万台以上のDFE導入実績を誇るなど、Fieryの業界トップのソフトウェアとクラウドベースのテクノロジーは、幅広いプロダクション印刷デバイスを介して最高のパフォーマンス、カラー表現、印刷品質を実現しています。

Fieryの革新的なソリューションにより、商業印刷、工業印刷、パッケージング、サイン・ディスプレイグラフィクス、セラミック、建築資材、テキスタイルなどの各種印刷を強化できます。30年以上にわたって優れたサポートとサービスを提供してきたFieryは、お客様、ディーラー、パートナーと比類ないコミュニティを築いています。詳細については、Fieryのウェブサイトをご覧ください。また、YouTubeとLinkedInでFieryをフォローしてください。

www.fiery.com

Fieryは、米国および/またはその他の特定の国におけるFiery, LLCの登録商標です。その他の用語や製品名は各社の商標や登録商標である場合があります。



詳細は、www.fiery.comをご覧ください。

Nothing herein should be construed as a warranty in addition to the express warranty statement provided with Fiery, LLC products and services.

ColorGuard, ColorRight, Command WorkStation, ColorWise, Fiery, the Fiery logo, Fiery Compose, Fiery Driven, the Fiery Driven logo, Fiery Edge, Fiery Essential, Fiery HyperRIP, Fiery Impose, Fiery Impress, Fiery ImageViewer, Fiery Intensify, Fiery JobExpert, Fiery JobFlow, Fiery JobMaster, Fiery Prep-it, Fiery Prints, the Fiery Prints logo, Fiery TrueBrand, FreeForm, MicroPress, IQ, PrintMe, RIPChips, RIP-While-Print, Spot-On, Spot Pro, and WebTools are trademarks or registered trademarks of Fiery, LLC and/or its wholly owned subsidiaries in the U.S. and/or certain other countries. All other terms and product names may be trademarks or registered trademarks of their respective owners and are hereby acknowledged.

© 2026 FIERY, LLC. ALL RIGHTS RESERVED.

FTL_069.08.26_JP